

第4回今後の県立高校の在り方検討委員会

石見地域全体を視野に置いた
高校教育の方向性について

～普通科教育の「核」の形成について～

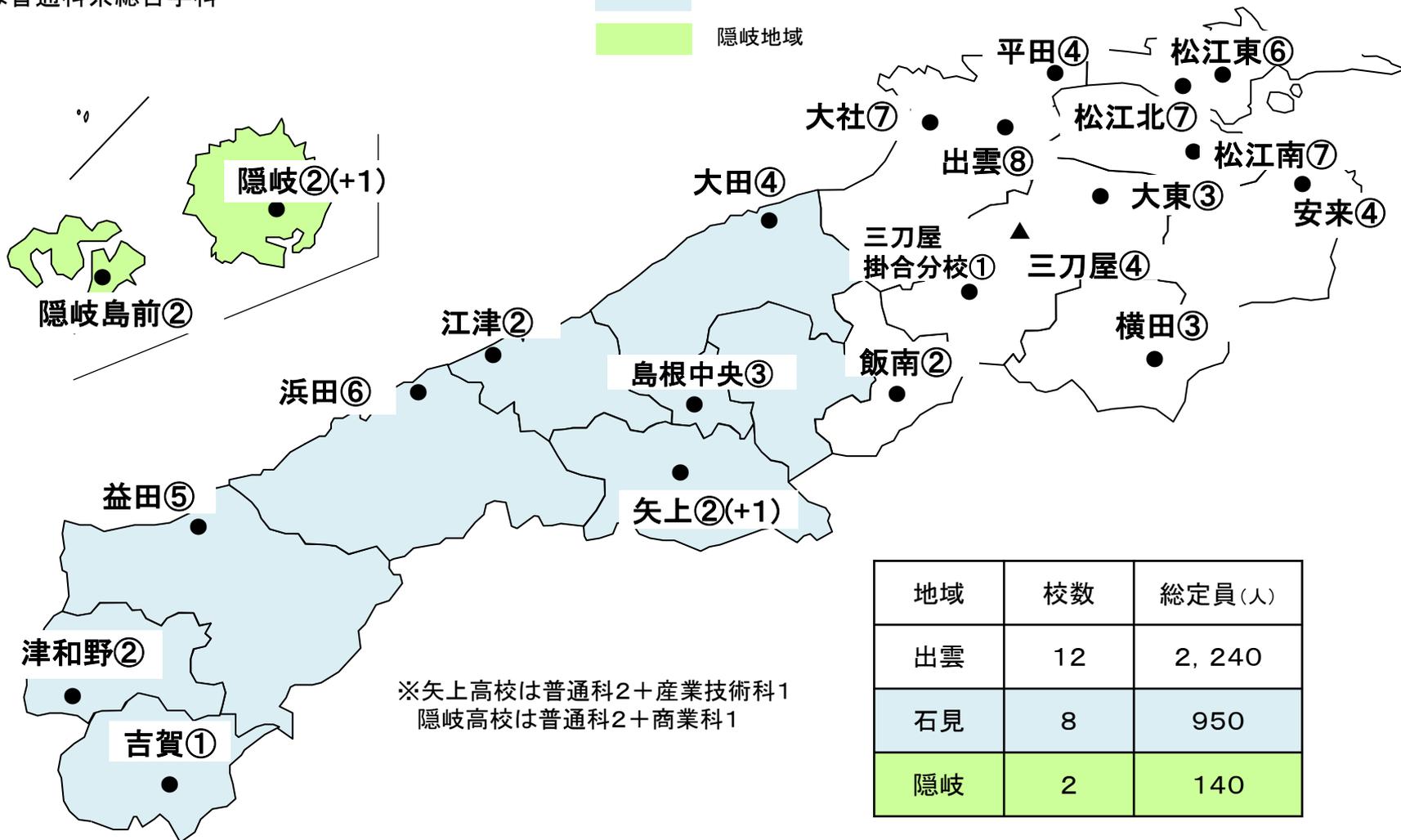
日時：平成28年8月18日（木）

場所：サンラポーむらくも 彩雲の間

I 江津市・浜田市エリアの 普通科高校について

県立普通科高校配置状況(普通科系総合学科を含む)

校名後の○数字は普通科系学科の募集学級数
▲は普通科系総合学科



※矢上高校は普通科2+産業技術科1
隠岐高校は普通科2+商業科1

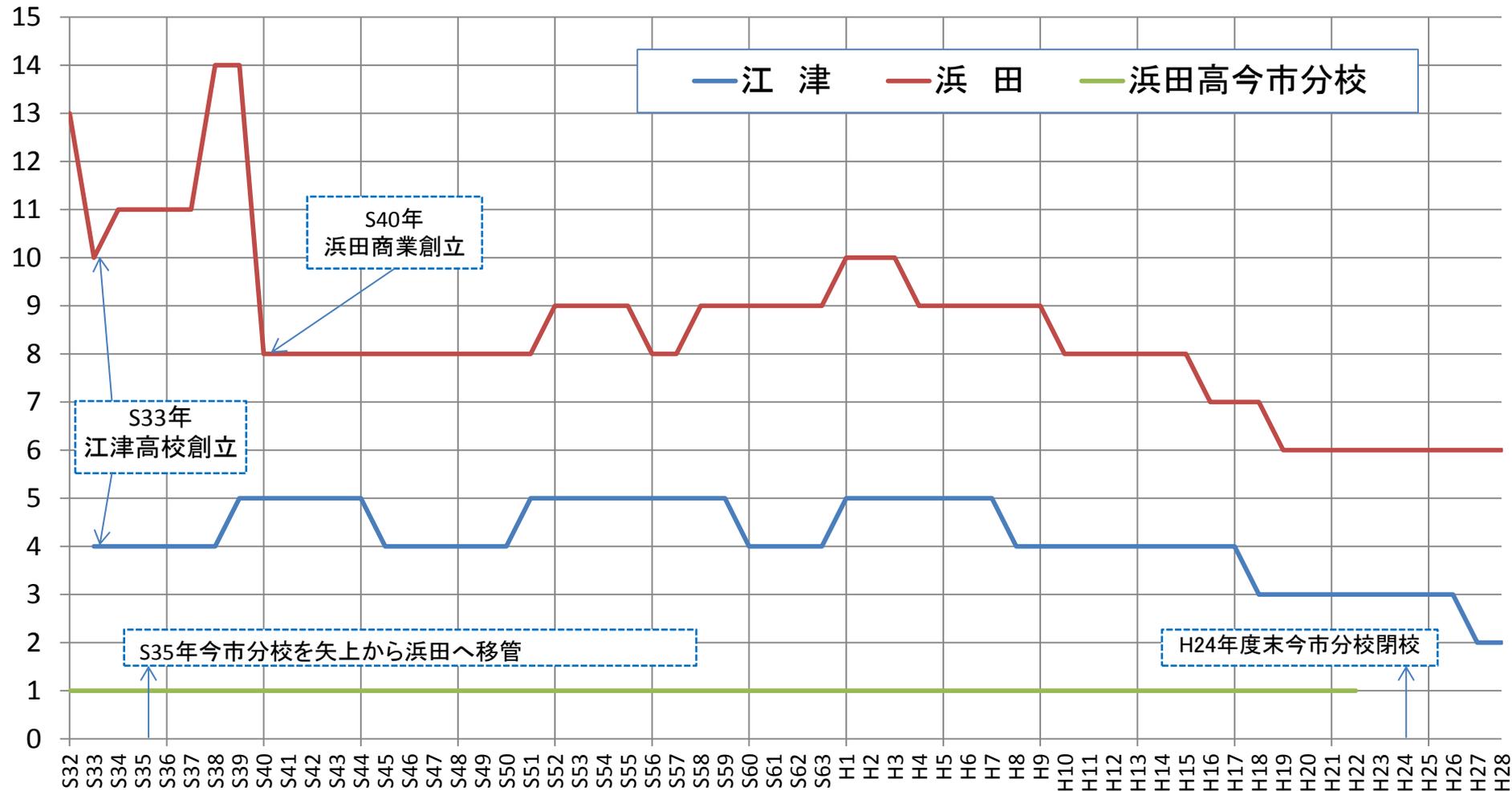
地域	校数	総定員(人)
出雲	12	2,240
石見	8	950
隠岐	2	140

江津市・浜田市エリアの普通科高校変遷

「県立高等学校の刷新充実計画具体案」(S32年)

- 【浜田高校関連】
- ・S33年度より江津市地区に普通科高校を設置
 - ・S35年度を目標に浜田高校商業科と益田産業高校商業科を合せて石見地区に商業高校を設置

単位: 募集学級数



江津高校・浜田高校の特色的な取組

江津高校

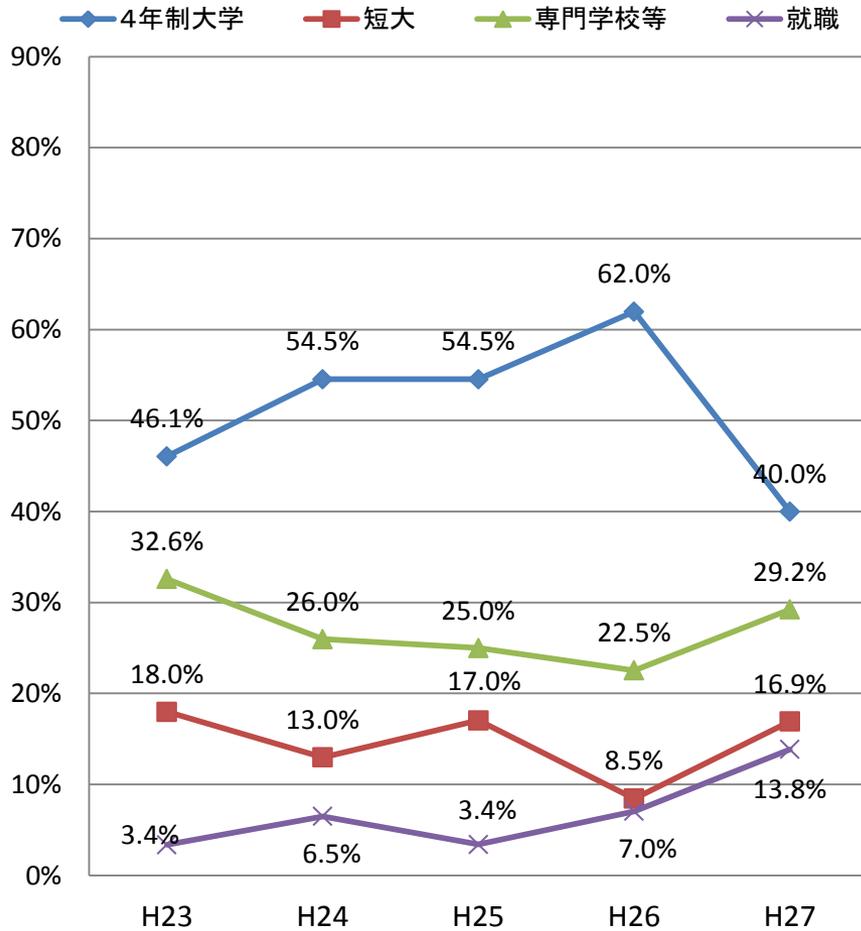
- 地域でつなぐキャリア教育推進事業(H25-27年度県指定)
- 総合的な学習の時間を中心にキャリア教育プログラム「GCE(Glocal Career Education)」を展開
 - ・地域振興ビジネスプラン地域課題研究
 - ・地域交流体験活動(高大連携、インターンシップ、ボランティア活動他)
 - ・小中高大連携英語教育研究会わくわくイングリッシュ他(小中高連携英語教育活動) など
- 部活動(男子水球部、男女ハンドボール部、地域活性部など)
- UI孫ターン(H28年度入試より積極的県外募集校)

浜田高校

- ICTの活用による新たな学び推進モデル事業(H27-29年度県指定)
ICT環境の整備(プロジェクタ及び実物投影装置購入)
- 総合的な学習の時間を中心にキャリア教育プログラム「HIRAKU」を展開
 - ・「地元を考えよう」(市役所職員・県立大学生の協力による提案)
 - ・「浜高生のための就職説明会」(大学卒業後の地元就職促進)
 - ・地元企業との連携・協力による商品開発やイベント提案 など
- 部活動(硬式・軟式野球部、男女体操競技部、合唱部、美術・工芸部など)

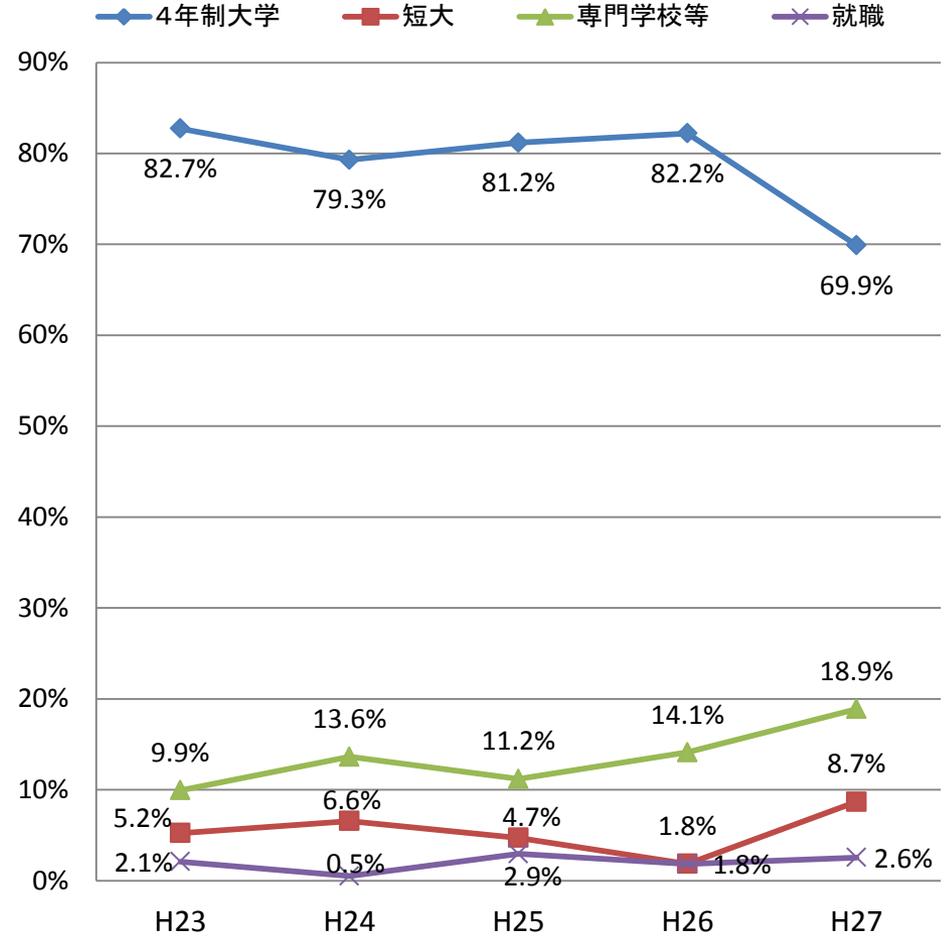
江津高校・浜田高校の進路状況(進路別)

江津高校



国公立大 進学者数	17	19	20	18	12
--------------	----	----	----	----	----

浜田高校

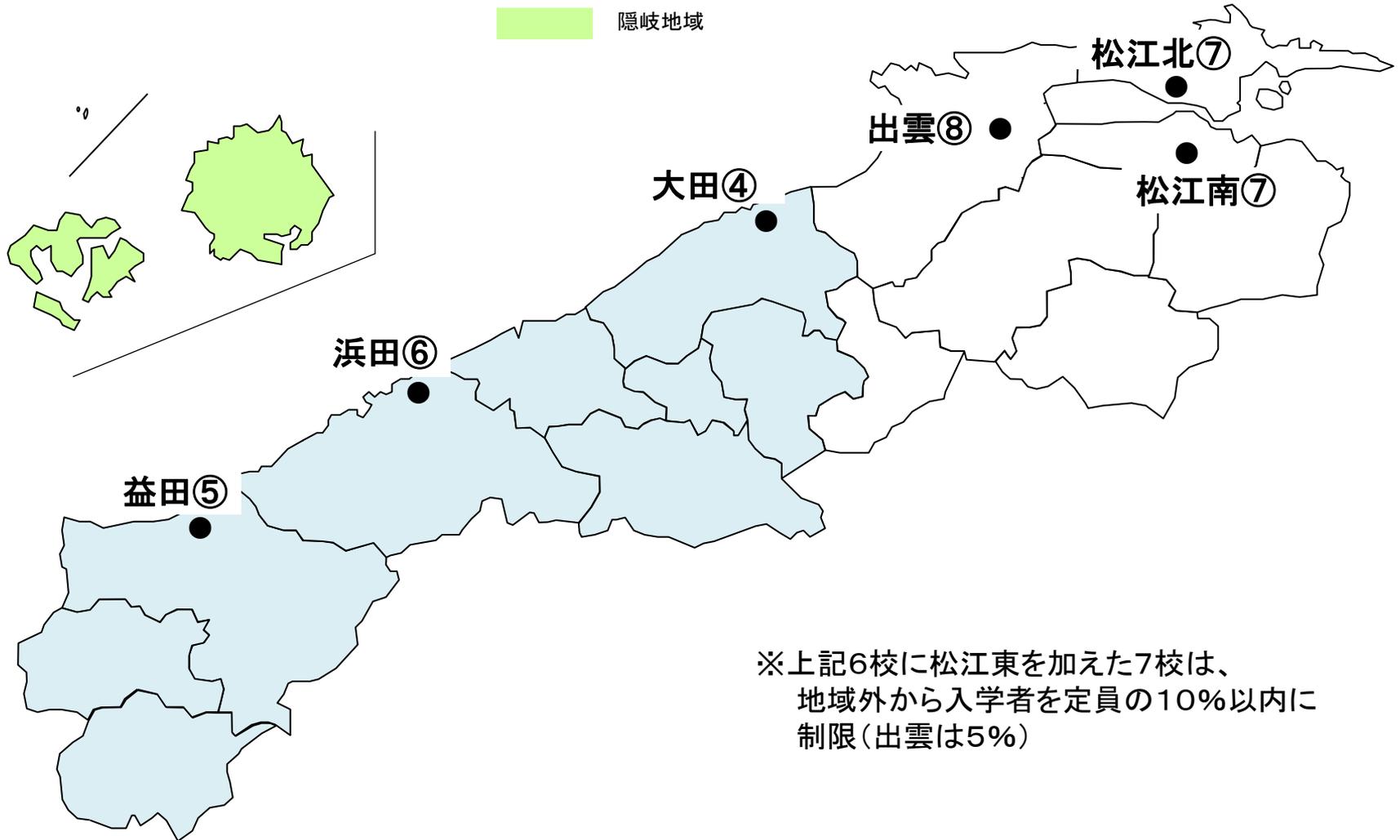
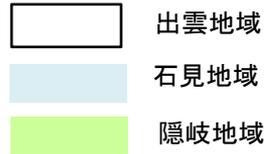


国公立大 進学者数	76	85	77	64	65
--------------	----	----	----	----	----

Ⅱ 島根県・石見地域の 普通科教育の現状

理数科を併設する普通科高校

○数字は募集学級数

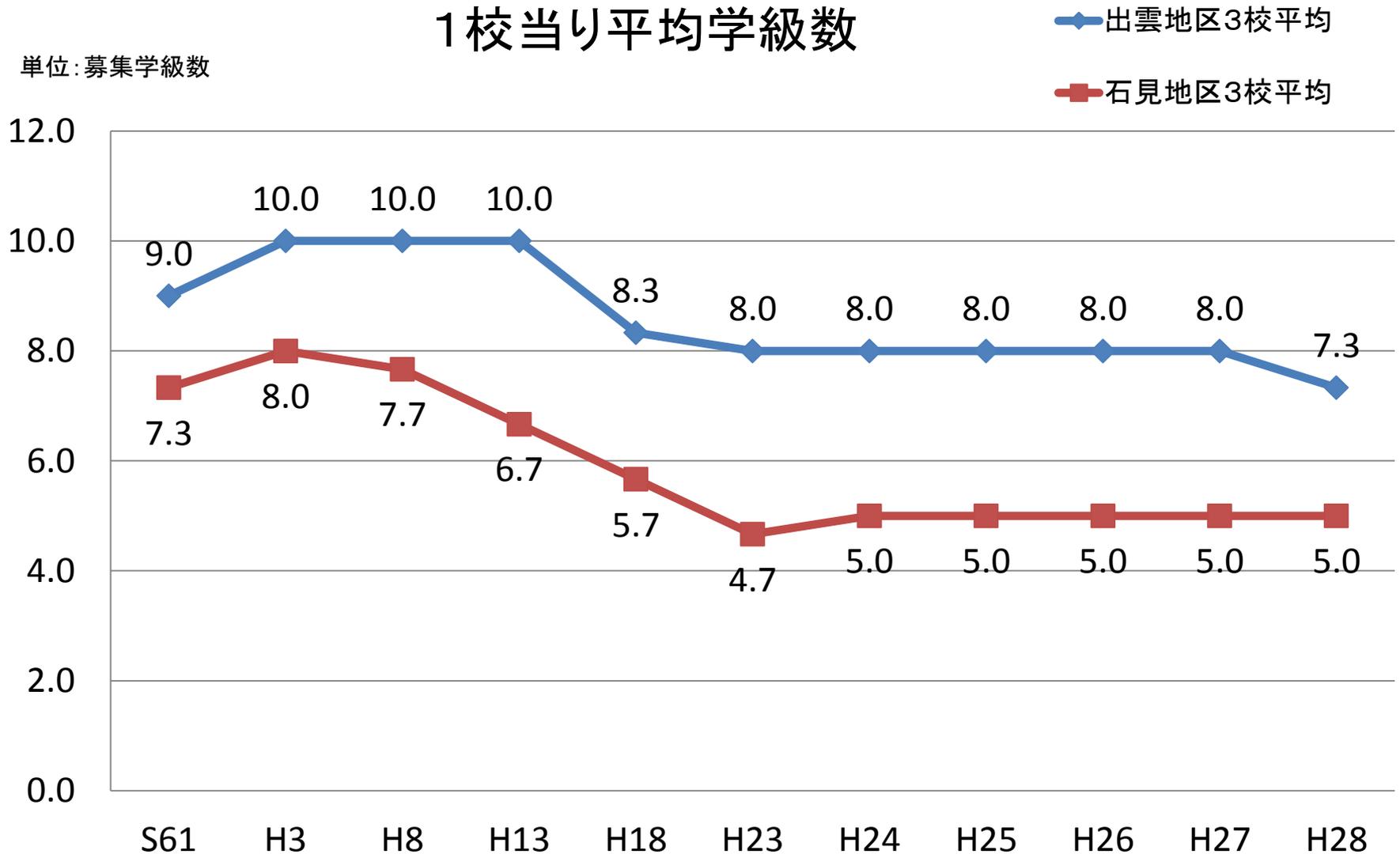


※上記6校に松江東を加えた7校は、
地域外から入学者を定員の10%以内に
制限(出雲は5%)

理数科を併設する普通科高校の学級数

1校当り平均学級数

単位: 募集学級数



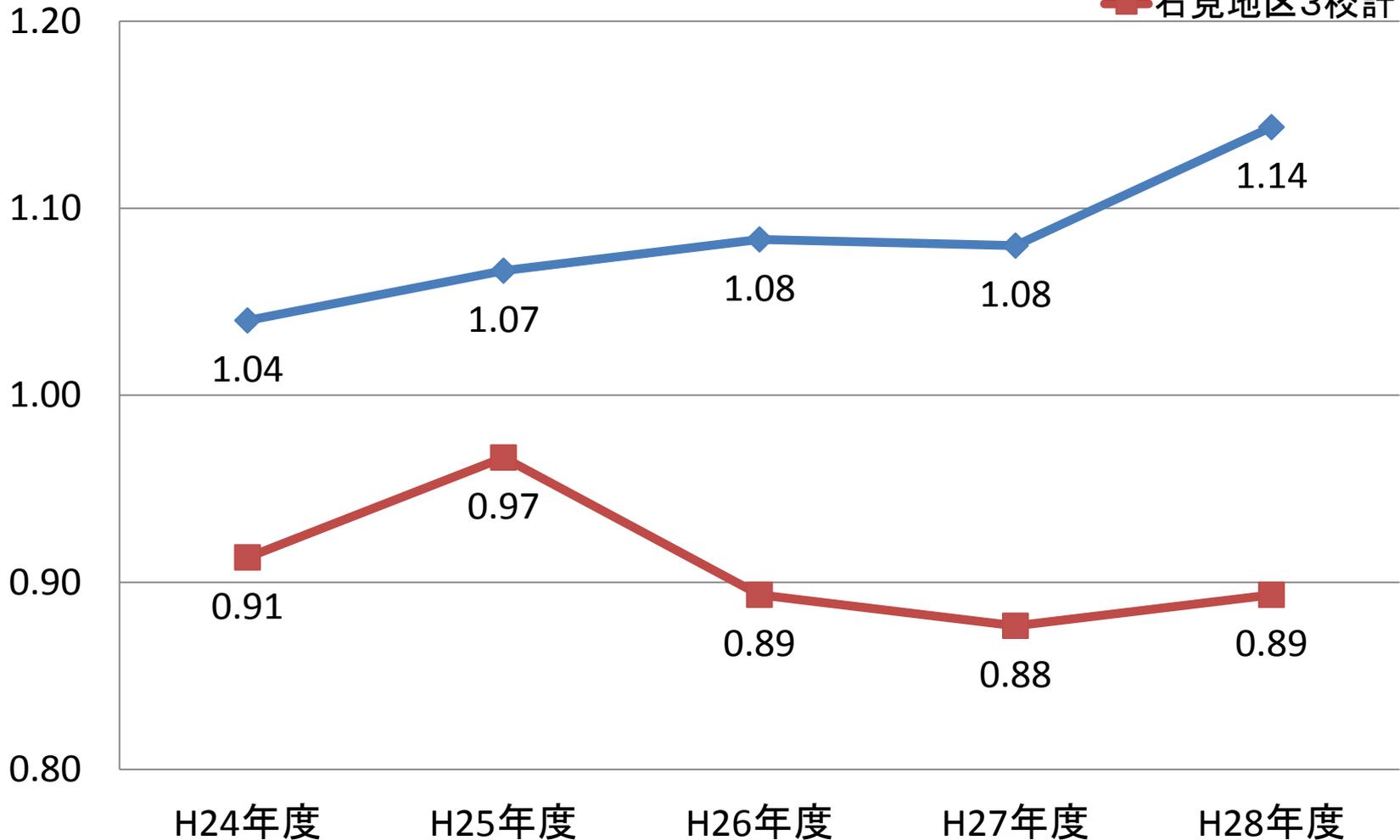
理数科を併設する普通科高校の入試倍率

単位:倍率

一般選抜第一志望者 志願倍率

◆出雲地区3校計

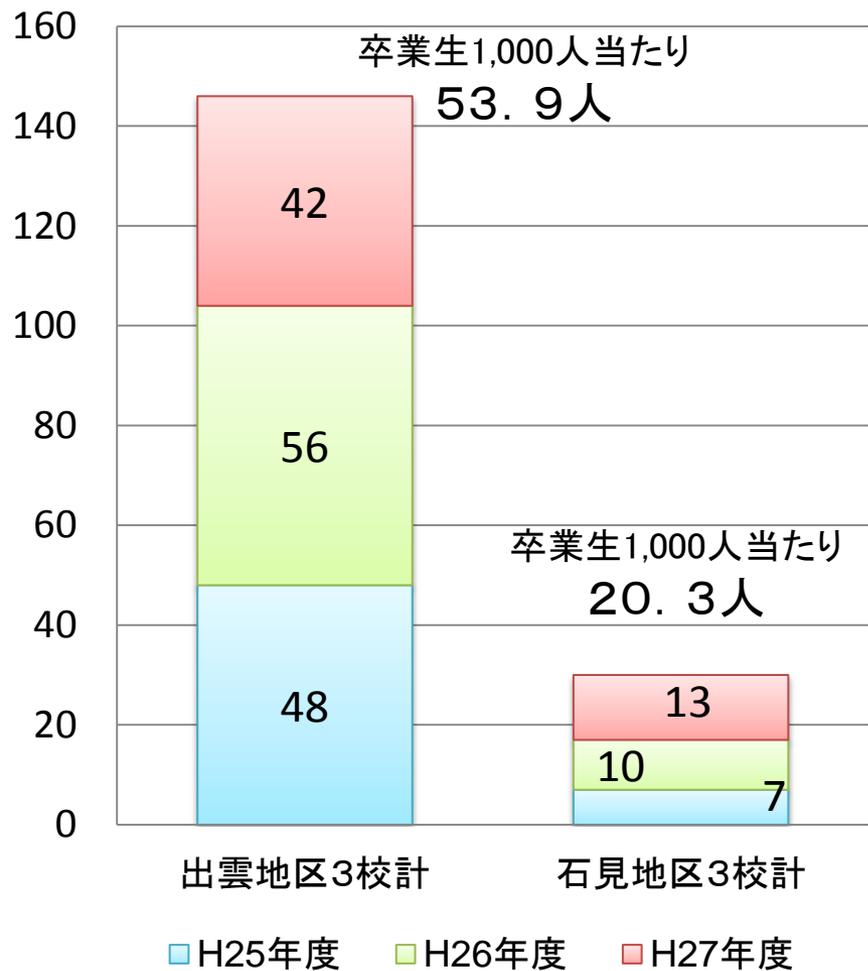
■石見地区3校計



理数科を併設する普通科高校の難関大・医学科現役合格者数

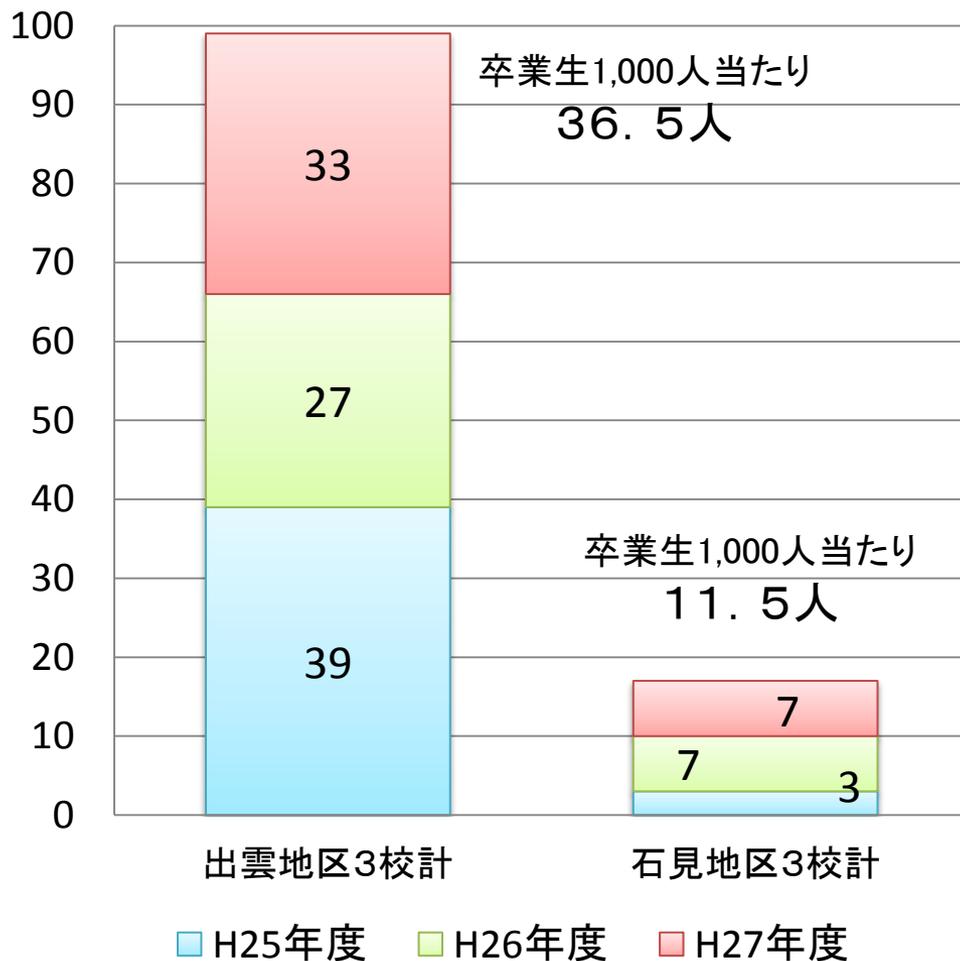
単位:人

難関大学合格者数



単位:人

国公立大医学科合格者数



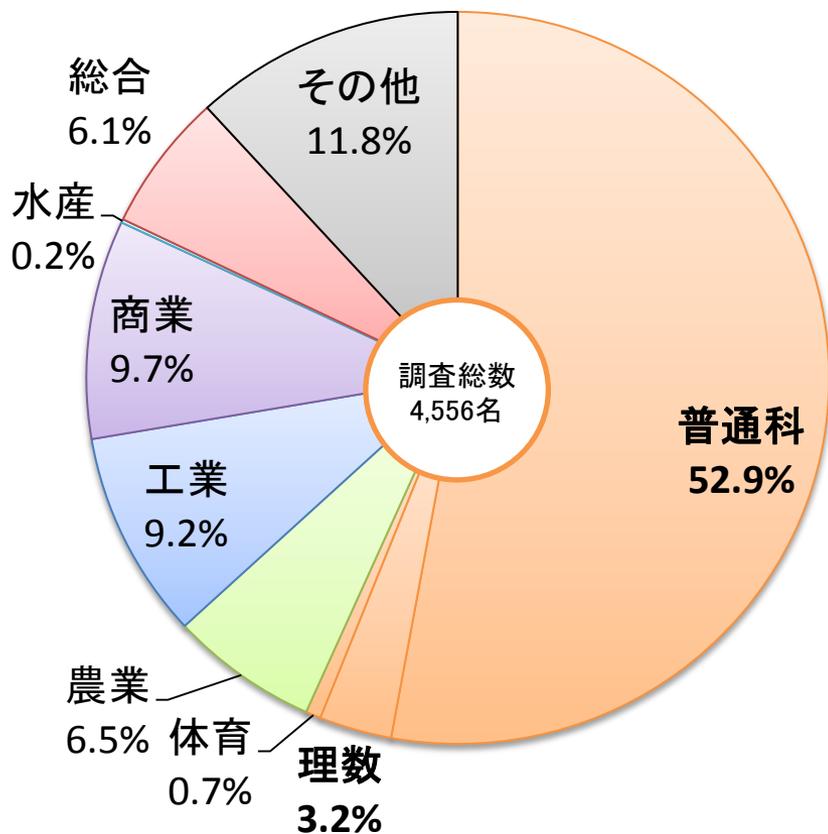
※難関大学…便宜上ここでは、北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大、東京工業大、一橋大、神戸大の10大学としている。

中学生の進路希望 (H28年3月卒業生)

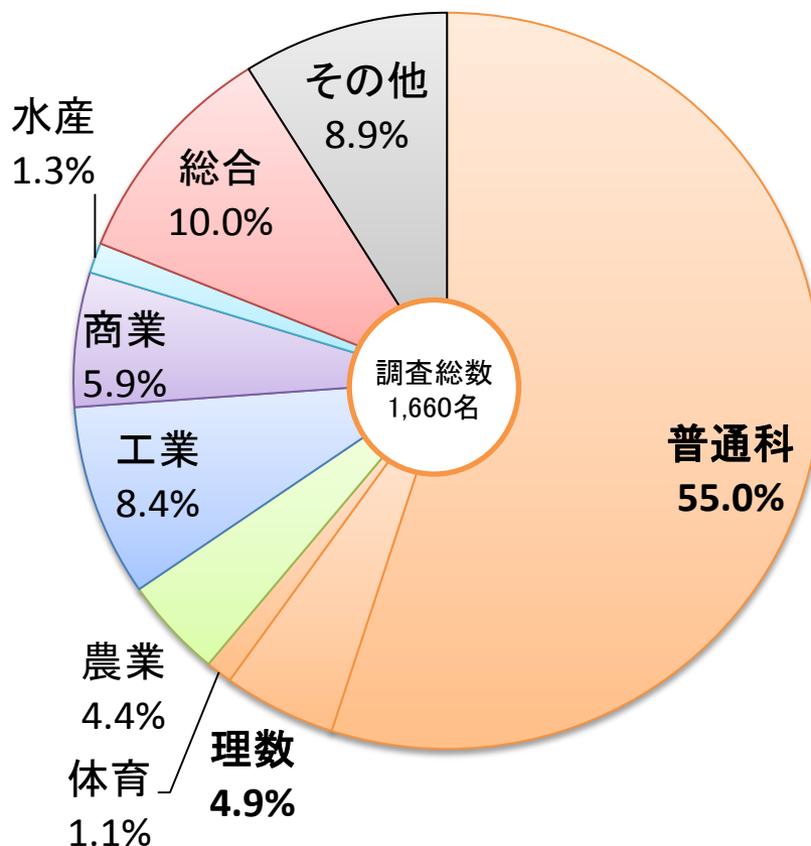
※県内国公立中学校の中学3年生を対象に調査。各年9月1日時点における進路希望

※「その他」は高専、県外高校、特別支援、定時・通信制、未定等

出雲地域中学生

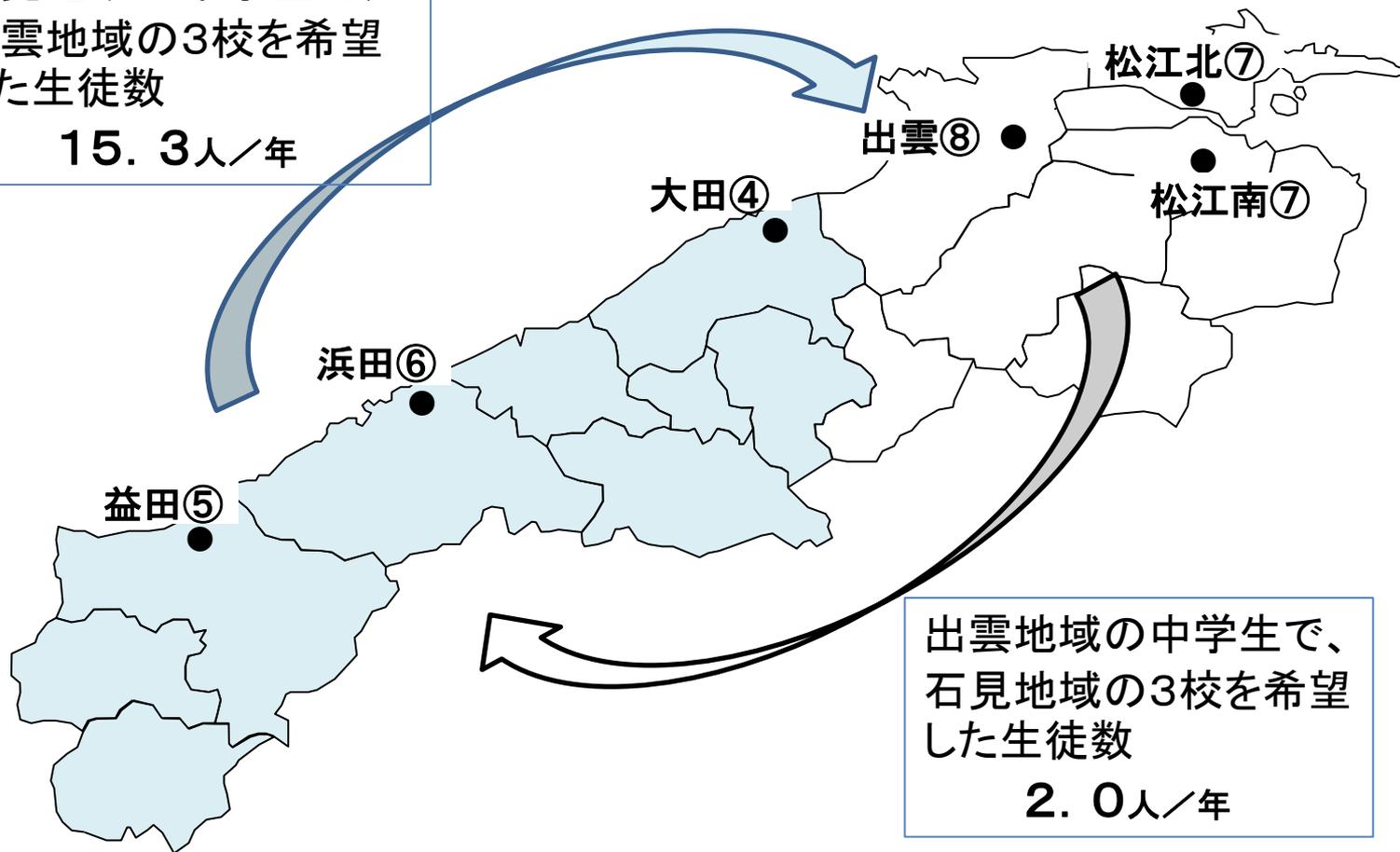


石見地域中学生



中学生の進路希望 (H25～27年年度中学校卒業生)

石見地域の中学生で、
出雲地域の3校を希望
した生徒数
15.3人/年



出雲地域の中学生で、
石見地域の3校を希望
した生徒数
2.0人/年

※出雲市多伎町は大田高校普通科の地域内であるため、多伎中学校から大田高校を希望する者の数を除く。

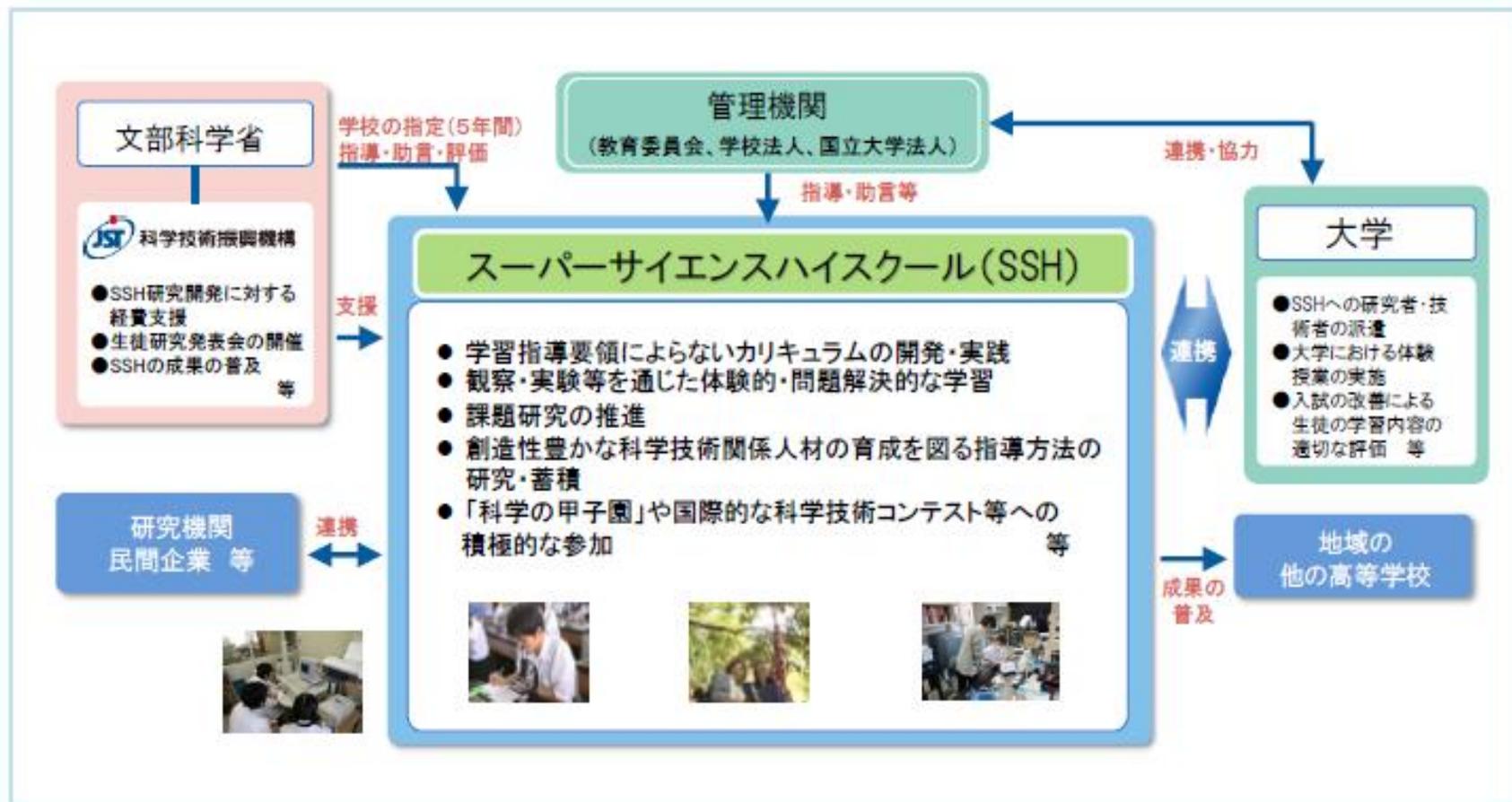
(参考資料)

普通科教育の先進的な事例

スーパーサイエンスハイスクール指定事業

概要

将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する高等学校等をスーパーサイエンスハイスクール(SSH)として指定して支援を実施



🚨 グローバルサイエンスキャンパス（601百万円：大学を中心とした国際的な科学技術人材育成プログラムの開発・実施を支援）等とも連携し、高等学校の理数教育全体の水準の向上を図る。

文部科学省HPより

SSH指定状況

※コアSSH

SSH指定校の理数系教育における中核としての機能の強化を図るため「コアSSH」を設け、SSH指定校に対して追加の支援を行うもの（指定期間5年）

※科学技術人材育成重点枠

地域の中核拠点形成など、科学技術人材育成に係る重点的な取組を、SSH本体と一体的な事業として推進するため「科学技術人材育成重点枠」を設け、SSH指定校に対して追加の支援を行うもの（期間最長3年）

指定校	事業	指定年	研究開発課題
益田高校	SSH	H24	(1)世界につながる力を持ち、海外でも活躍しうる学力、英語力、および国際性の習得した人材を育成 (2)SSH事業が形成する地域のネットワークにより、小学校・中学校・高校をつなぐ科学教育プログラムの確立。科学教育によって地域に活力を与え、科学で輝く町「さいえんすたうん益田」の基盤を構築
	コアSSH	H24	
	重点枠	H28	
出雲高校	SSH	H25	科学的リテラシーを備え、国際社会で活躍するリーダーを育てるプログラムの研究開発
(私)開星中学校・高等学校	SSH	H25	道徳観を備えた科学系人材を育成する中高一貫教育課程の開発

※松江東 H15～H22年指定

スーパーグローバルハイスクール指定事業

◆**目的**:急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する。

◆**事業概要**:国際化を進める国内の大学のほか、企業、国際機関等と連携して、グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール」に指定し、質の高いカリキュラムを開発・実践する。

- ・委託事業 ・委託先:都道府県市教育委員会、国立大学法人、学校法人
- ・対象学校:国公立私立高等学校及び中高一貫教育校(中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校)
- ・指定期間:5年間
- ・指定校数:H28年度新規11校(H26年度56校、H27年度56校)
- ・H28年度は中間評価を実施(H26年度指定校)



スーパーグローバルハイスクール(SGH)

【主な取組】

- ・グローバル・リーダー育成に資する課題研究を中心とした教育課程の研究開発・実践
- ・英語等によるグループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、探究型学習等の実施
- ・企業や海外の高校・大学(ESDを通じたユネスコスクールを含む。)等と連携した課題研究(例:国際的に関心が高い社会課題、地元企業や大学等と連携したグローバルな課題)に関する意見交換及び国内外フィールドワーク
- ・課題研究の英語等による成果発表会等の開催

【大学との連携】

- ・課題研究に関する英語等で指導を行う帰国・外国人教員等の派遣や、外国人留学生による英語等によるサポート
- ・海外フィールドワーク等の企画・立案に関するノウハウの伝授
- ・生徒の学習内容の適切な評価
- ・単位認定を含む高大連携プログラムの提供



グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材(国際機関職員、社会起業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等)の輩出

SGH指定状況

※SGHアソシエイト

SGH事業の構想をより多くの学校に広めていく観点から、SGH事業を踏まえたグローバル・リーダー育成に資する教育の開発・実践に取り組む高等学校等を「SGHアソシエイト」として位置付け(指定期間5年)
アソシエイト56校

指定校	事業	指定年	研究開発課題
出雲高校	SGH	H26	「自立」と「協働」により、地域・社会の核となるグローバル・リーダーの育成
隠岐島前高校	SGH	H27	離島発 グローバルな地域創生を実現する「グローバル人材」の育成